

鳥獣保護管理調査コーディネーター

宇野 幸枝

有限会社宇野獣医科
愛知いきもの対策室

対象鳥獣

ニホンザル

活動地域

愛知県
豊田市

● 事業内容

ニホンザル生息状況調査業務

研修

支援

調査

捕獲

■ 事業の背景

愛知県豊田市では、ニホンザルによる農作物被害や生活被害が発生しているが、市内に生息している加害群の数や、その行動域・規模等は不明であった。そこで、加害レベルに応じた捕獲や追い払い等の対策を計画・実行するために、ニホンザルの生息状況を調査した。

■ 実施した内容

調査は、まず、市の囲いワナを使用して加害群のオトナメス個体を捕獲し、GPS首輪の装着を行った。その後、GPS首輪を利用して、加害群の追跡調査と住民への聞き取り調査を実施し、加害レベルの判定と、個体数・性別および年齢区分の把握を行った。さらに、GPS首輪によって得られた位置情報を解析し、加害群の行動域や移動経路を明らかにした。また、市への通報記録や捕獲記録も解析に活用し、市内に生息している群れの分布状況を推定した。



写真 追い払い対策研修会の様子

事業の成果

市では、調査実施の翌年度から、GPS首輪の位置情報を自動的にダウンロードすることができる基地局と、ダウンロードした位置情報を該当地域の住民がスマホ等で閲覧できるサル監視システムを導入した。

基地局を設置する場所の選定には、調査結果が用いられた。加害群の行動域と移動経路を踏まえて、被害発生地域へやって来る加害群を監視できる場所を、市、基地局の開発・販売メーカー、登録者で相談し、選定した。

また、市では、該当地域の住民向けに、ニホンザルの追い払い対策研修会を開催し、スムーズなサル監視システムの導入と、サル監視システムを活用した地域ぐるみのサル追い払い対策支援を行っている。登録者は、今年度委託業務の一環として、研修会の内容企画を担当すると共に、研修会中では、ニホンザルの生態と追い払い方法の講習や、調査結果の報告、地域ぐるみのサル追い払い対策計画作りのファシリテーターを担った。なお、研修会には基地局の開発・販売メーカーも参加し、住民が正確にサル監視システムを利用できるよう、操作方法を実習形式で説明した。年度末には、再び研修会が開催される予定である。ここでは、1年間蓄積された加害群の位置情報解析結果を報告し、加害群がよく利用する場所や、季節ごとの行動域といった情報を住民と共有すると共に、サル監視システムを利用したふりかえりを行い、次年度以降のサル対策計画をワークショップ形式で検討する予定である。



写真 麻酔薬によって不動化しGPS首輪を装着したサル